

総務委員会 県内調査活動状況

- 1 調査日 令和2年2月13日（木）
- 2 出席委員（8名）
委員長 乙黒 泰樹
副委員長 大久保 俊雄
委員 早川 浩 杉山 肇 臼井 友基 山田 七穂
卯月 政人 望月 利樹

欠席委員 桜本 広樹

3 調査先及び調査内容

【富士山雁ノ穴噴火口及び周辺市街地（防災ヘリによる調査）】

○調査内容（主な質疑）

問) 先日、総務委員会で、県警が管轄するヘリコプターを視察した。県警と消防防災航空隊のヘリコプターの役割の違いを教えてください。

答) 私どもの消防防災航空隊では、基本的には消防本部から隊員を受け入れ、消防本部からの通報による救急搬送や救助を主に行っている。警察との関係の中では、原則的には警察は警察関係の業務を行っているが、ヘリコプターの運行ができない場合もあるため、そこは役割を補完しながら、県警にも救助活動をやってもらうなどしている。

問) 救助の面で警察と重なるところがあるとのことだが、指揮命令系統が二つあるということは、もしかしたらそこにタイムロスが発生するのではないかというイメージがあるが、そこはしっかりと連携できているということでしょうか。

答) 基本的には、救急関係については、消防本部からの通報があり、まずは「あかふじ」が対応することになるので、優先順位が定められている中で対応できていると考えている。



※説明、質疑の後、消防防災ヘリ「あかふじ」に搭乗し、富士山雁ノ穴噴火口及び周辺市街地の視察を行った。